



国内ペット関連市場の調査を実施

国内ペット関連市場

2011年は前年比横ばいの3,946億円、2012年見込は1.2%増の3,994億円

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811）は、ペットの飼育頭数の伸び悩みを背景に、市場成長に翳りが見え始め、新たな戦略が求められる国内のペット関連市場を調査した。その結果を報告書「2012年 ペット関連市場マーケティング総覧」にまとめた。

この報告書では、ペット関連市場としてペットフード10品目、ペットケア用品10品目、ペット生活用品10品目の3カテゴリー30品目の市場を調査分析した。同時に、注目ビジネスとしてペット保険を取り上げ、その市場を調査分析した。また、ペットオーナーに対してペットの飼育状況や種類、飼育トレンド、またフード/用品の需要トレンド、購入方法などに関するインターネット調査を実施した。インターネット調査では今回新たにインターネットチャンネルでのペットオーナーの購買行動を把握するための設問を加えている。

<市場調査結果の概要>

1. ペット関連市場

2011年	前年比	2012年見込	前年比
3,946億円	99.9%	3,994億円	101.2%

2011年のペット関連市場は前年比0.1%減とほぼ横ばいで、プラス成長を2年連続逃した。市場の17%を占めるペットケア用品が前年比1.5%増と安定成長を維持したが、同73%のペットフードが同0.2%減、同10%のペット生活用品が同2.0%減となった。ペットフードとペット生活用品は縮小したものの、2010年と比較すると縮小幅は緩和されている。

ペットフード市場では、2011年はドッグフードが縮小、キャットフードが微増となった。2010年は共にマイナス成長に転じたが、ドッグフードは生体の小型化や大袋包装による低価格化などから引き続き苦戦を強いられ、キャットフードは回復した。キャットフードの他にプラス成長したのはジャーキー、ガム、ハムスター・モルモット用フード、ウサギ用フード、食事療法食である。ウサギ用フードは高付加価値製品を主軸に、また、食事療法食はペットの長寿命化や肥満化などを背景に好調を維持している。

2011年のペットケア用品市場は、市場規模200億円以上の猫砂とトイレ用シートが室内飼育の増加を追い風に前年比2~3%増を維持し、全体市場を牽引したことからプラス成長となった。また、日常生活において飼い主とペットの接する距離が近づいたことなどから、イヤークリーナー、デンタルケア用品、ボディタオルなどの市場も小規模ながら拡大が続いており、普及率の向上で更なる拡大が期待される。

ペット生活用品では、100億円規模の市場を形成する観賞魚用の水槽・周辺器具が震災や原発事故の影響で縮小を加速させ、2011年は前年比二桁減となった。揺れによる水槽転倒の危険性や計画停電/節電でポンプやヒーターが安定稼働出来ないなどの問題から観賞魚離れが進んだ。一方、ペットと共に移動する際に使用するキャリーや節電対策として電気を使用せずに暑さを凌ぐためのクールマットが特需で伸びた。また、首輪、胴輪、引紐などの犬具は近年縮小が続いている。

注目市場

プレミアムフード	2011年 576億円	前年比 100.2%	2012年見込 583億円	前年比 101.2%
----------	----------------	---------------	------------------	---------------

ドッグフードとキャットフードの内数

ドッグフードとキャットフードの内、ライフステージや飼育環境、ペットが抱える症状や悩み等に対応した高付加価値ペットフードを対象としている。

2011年の市場は前年比0.2%増と、2年連続でほぼ横ばいとなった。犬用は新規飼育頭数の頭打ちや生体の小型化による給餌量の減少、大袋タイプを中心とした価格の下落により微減が続いている。一方猫用は、猫の新規飼育頭数の落ち込みが犬よりも緩やかである他、ペットの健康面の悩みに対応したフードが好調であるため、2011年も拡大となった。

ペット医療の高度化やフードの品質向上などによってペットの寿命は長くなっており、それに伴ってシニア向けが拡大を続けている。一方、犬種別や、従来の食事療法食領域である肥満対策、下部尿路疾患、食事アレルギー向けなどが展開され、需要の拡大が図られている。また、自然由来の厳選素材を使用した製品も増えている。海外ではペットフードの原料に重点を置いた自然派フードが一般的であり、今後国内でも普及が期待される。

ただ、ペットの小型化や飼育頭数の伸び悩み、ペットへの支出減など、ペット市場を取り巻く環境は厳しさを増しており、また、ホームセンターなどでは販売価格が低下しており、今後の市場動向は楽観視できない状況にある。

食事療法食	2011年 161億円	前年比 103.2%	2012年見込 168億円	前年比 104.3%
-------	----------------	---------------	------------------	---------------

食事療法食（処方食）は、犬猫が抱える特定の疾患とその症状に合わせて栄養バランスが調整された、動物病院で処方されるペットフードを対象としている。

2011年の市場は、前年比3.2%増の161億円となった。震災の影響により4～6月は需要が落ち込んだが、夏場以降は回復し、通年では前年並みの拡大を維持した。市場構成比は犬用が60%、猫用が40%となっている。一般のドッグフードは市場が縮小しているが、食事療法食は犬用、猫用共に拡大している。

ペットの長寿命化、室内飼育の増加によってペットの肥満が問題となっている。そのため、尿石症や肥満、食物アレルギーなどを患うペットも増加しており、食事療法食の需要も拡大が期待される。

一方、本来食事療法食は動物病院で処方されるものであるが、ペットの飼育頭数の伸び悩みや不況の影響などで来院頭数が減少した動物病院が食事療法食をインターネットで安価に販売するケースも見られ、販売単価が下落傾向にある。また、ネット販売以外にもホームセンターやドラッグストアを中心に量販店でも安価に販売されており、販売単価の下落に歯止めが掛らない状況である。

2. ペット保険

	2011年	前年比	2012年見込	前年比
契約件数	608,850件	118.2%	712,400件	117.0%
登録代理店数	2,990店	106.8%	3,260店	109.0%

数値は各年12月末現在

2011年の契約件数は前年比18.2%増の608,850件、登録代理店数が同6.8%増の2,990店となった。ペット保険は生体の購入と同時に加入するケースが多いため、代理店であるペットショップ経由の加入申し込みが中心である。ペット保険会社がカーディーラーや生損保代理店などを代理店とする動きが近年さらに活発化し、ペットオーナーに対しては様々なチャネルからのアプローチが行われているため、契約件数も順調に拡大している。震災の発生で参入各社は被災地域の状況確認等の対応を迫られると共に、犬猫等の生体販売への悪影響が懸念されたが、ゴールデンウィーク以降持ち直し、通年では影響が軽微なものに収まった。

順調に拡大するペット保険だが、欧米と比較すれば加入率はまだ低く、ペット保険会社各社は営業活動の推進と共に、メディア露出の拡大によって認知度向上を図っている。

< アンケート調査結果の概要 >

1. ペットの飼育状況（男女1万人のシングルアンサー）

ペット飼育率は36.8%となった。2011年の調査（同じ調査設計であるが回答者は同一とは限らない）と比較すると1.6ポイント減少した。また、主なペットの飼育率は、犬が16.5%（2011年調査比1.4ポイント減）、猫が11.5%（同0.9ポイント減）となった。

2. インターネット通販の利用状況（犬・猫オーナー各300人のシングルアンサー）

ペット関連製品の購入を目的としたインターネット通販を1年間に1回以上利用しているのは、犬オーナーが52.3%、猫オーナーは49.0%で、僅かに犬オーナーの利用率が高かった。

3. ペット関連製品の情報入手手段（犬・猫オーナー各300人のマルチアンサー）

ペット関連製品の情報を店頭で入手しているのは、犬オーナー、猫オーナーともに75%以上となった。製品メーカーにとっては店頭での販促やパッケージに記載する商品説明が重要となる。

企業のホームページを参考に情報入手しているのは、犬オーナー、猫オーナーともに20%程度となった。犬オーナーでは友人知人からの口コミと動物病院からの情報入手が同じく20%程度となった。一方、猫オーナーは友人知人からの情報入手が13.7%、動物病院からの情報入手が11.7%となった。また、ペット好きのブログやペット好きが集まるSNSなどからの情報入手は、犬オーナー7.0%、猫オーナー3.3%となった。

<調査概要>

市場調査

調査対象

ペット 関連 市場	ペットフード	ドッグフード、キャットフード、プレミアムフード、スナック、観賞魚用フード、小鳥・観賞鳥用フード、小動物用フード、サプリメント、ミルク、食事療法食
	ペットケア用品	猫砂、トイレ/トイレ用シート、オムツ、ペット用トイレタリー、しつけ剤、消臭剤/脱臭剤、防虫剤/殺虫剤、シャンプー類、イヤークリーナー、デンタルケア用品
	ペット生活用品	首輪/胴輪/引紐、ベッド/マット/ヒーター、ケージ/サークル・ゲート、キャリー、ブラシ/クシ、食器/給水器、玩具、衣類、ハウス、水槽/周辺器具
注目ビジネス	ペット保険	

調査方法

富士経済専門調査員による参入企業、業界関連企業、関連団体への直接面接取材、電話によるヒアリング、社内データベースの活用。

調査期間

2011年12月～2012年2月

アンケート調査

調査対象

ペット飼育状況	国内在住15歳以上の男女1万人 (ペットの飼育状況、種類、購入場所、他)
ペットフード/用品需要動向	国内在住15歳以上の犬・猫オーナー各300人(計600人) (ペットの飼育トレンド、フード/用品の需要トレンド、他)

調査方法

インターネットリサーチを利用

調査期間

ペット飼育状況 2012年2月14日～17日

ペットフード/用品需要動向 2012年2月21日～24日

以上

資料タイトル:「2012年 ペット関連市場マーケティング総覧」

体 裁 : A4判 302頁

価 格 : 130,000円(税込み136,500円)

電子版セット150,000円(税込み157,500円)

調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部

TEL:06-6228-2020 FAX:06-6228-2030

発 行 所 : 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/> <https://www.fuji-keizai.co.jp/>